

# センター通信



駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

## イベントの実施状況

当センターで今年度に予定していたイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止又は延期となりましたが、9月に入り活動拠点である大沼周辺に修学旅行のバスも乗り入れ、観光客の姿も見掛けるようになりました。

当センターでも、検温・マスクの着用・バスの座席配置等の対策を講じてイベントの実施を再開しています。

当センターの取組を紹介します。

## 樹木博士認定会

観光地、七飯町大沼に近接する西大沼国有林の西大沼樹木博士認定常設コースで、樹木博士認定会を年4回実施しております。

樹木博士とは樹木の名前を葉や枝等から識別できる人のことで、認定会により段位を授与するとともに森林に親しんでもらうことを目的としています。

認定会は、応募された参加者に事前に送付したガイドブックと認定会当日に当センター職員が樹木の前行う葉や枝、樹皮などの特



葉の特徴を手に取って確認中

## 森林づくり塾

森林ボランティア・森林環境教育などの人材育成を目的に、年度当初に公募し、植樹、下刈、枝打ち、間伐などの体験や木材工場・海岸林の見学などを年6回程



森林づくり塾で集合写真

## 国際ワークキャンプ

国際ワークキャンプは、世界中の若者が地域に集い、環境保全等のボランティア活動を目的として共同生活を行います。

この活動を支援する大沼マイルストーン22と連携し、下刈、植え付け、ポット苗作り、作業道の草刈り・補修などを行っていただいております。今年度は渡航制限により中止となりましたが、早く感染が収束し、世界の方々が大沼に集うことを望んでおります。



昨年の国際ワークキャンプ

## 大沼地域自然再生等モデル事業

モデル事業地の吉野山国有林は大沼国定公園エリアに所在し、水質保全・景観・鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められ、環境保全等に関心が高い区域である

ことから、地域住民、ボランティア団体、行政等の協働で多様性のある森林づくりと森林環境教育を理念として進めています。

## 吉野山植生観察会

平成26年に吉野山国有林で北海道アウトドアガイド(自然)の協力を得て、植生調査を実施し、翌年からは、公募で参加者を募り「植生観察会」として、春季と秋季に実施しています。このデータは自然再生等モデル事業の進捗状況による植生の変遷や森林環境教育の貴重な資料としての活用を検討しています。



観察会で植生調査

このほかに、出前の樹木博士認定会などの森林環境教育や野生生物観測調査等を実施しています。参加をご希望される方は、当センターにお気軽にお問い合わせください。